

驚きの2018夏!

学校長 地口 朝美

「プールに入れない!」

「気温が高く、水温も高いからです。」

肌を刺すような日差し、プールサイドは、照り返しも強烈です。

「水泳指導の時も熱中症対策をしてください」という通達がでました。今年の暑さは、特別です。全国各地で最高記録を更新しています。とうとう、41度越えもできました。

そんな状況でも、子どもたちは水泳をととても楽しみにしています。学校は、気温や水温を正確に計測し、子どもたちの体に負担がないよう「安全第一」のもと、条件を整えば実施するという方針で進めました。気温と水温はデジタル温度計で常にチェックし、水泳中も子どもたちの健康観察をし、こまめな水分補給を心がけながら実施しました。夏休み前、低学年の水泳指導の実施日、健康状態を考慮し1回だけ中止することがありました。7月23日～26日までの夏休み水泳指導は、すべて実施することができました。

実施することが、危ぶまれた27日の本年度区水泳大会。左近山小と市沢小は、市沢小が会場でした。その日は、気温30度、水温27度と最高のコンディションとなりました。この日、旭区9会場すべてで開催することができました。

一人ひとりが、目標達成に向けて、全力で泳ぎました。参加した両校の選手が、学校の枠を超えて、泳いでいる選手を応援しました。そして、会場の雰囲気、選手の集中を高め、緊張をパワーに変えていたようです。自己新記録のラッシュとなりました。それだけではありません。女子50M平泳ぎと自由形、女子200Mリレーでは旭区新記録を更新しました。日々の努力と猛暑日の練習が、選手を後押ししてくれました。

記録更新と両校の親睦を深める大会となりました。その勢いを大切に、8月に入り、市水泳大会に向けて両校合同練習をしました。

今夏の暑さや異常気象は日本だけではありません。世界中で起こっています。驚くのは、普段は涼しい北欧でも高温です。フィンランド33.4度。スウェーデンは通常22度程度が、今夏は30度越え、日照りと乾燥で森林火災が発生しています。台風12号も逆走。東から西へ進む台風、信じられません。びっくりすることばかりの2018夏でした。

それよりも、何よりもうれしい驚きは、猛暑をしのぎ元気にもどってきた子どもたちの姿です。それだけでなく、多くの子たちが夏休みの自慢や成果をもって登校したことです。